



ZENFUREN

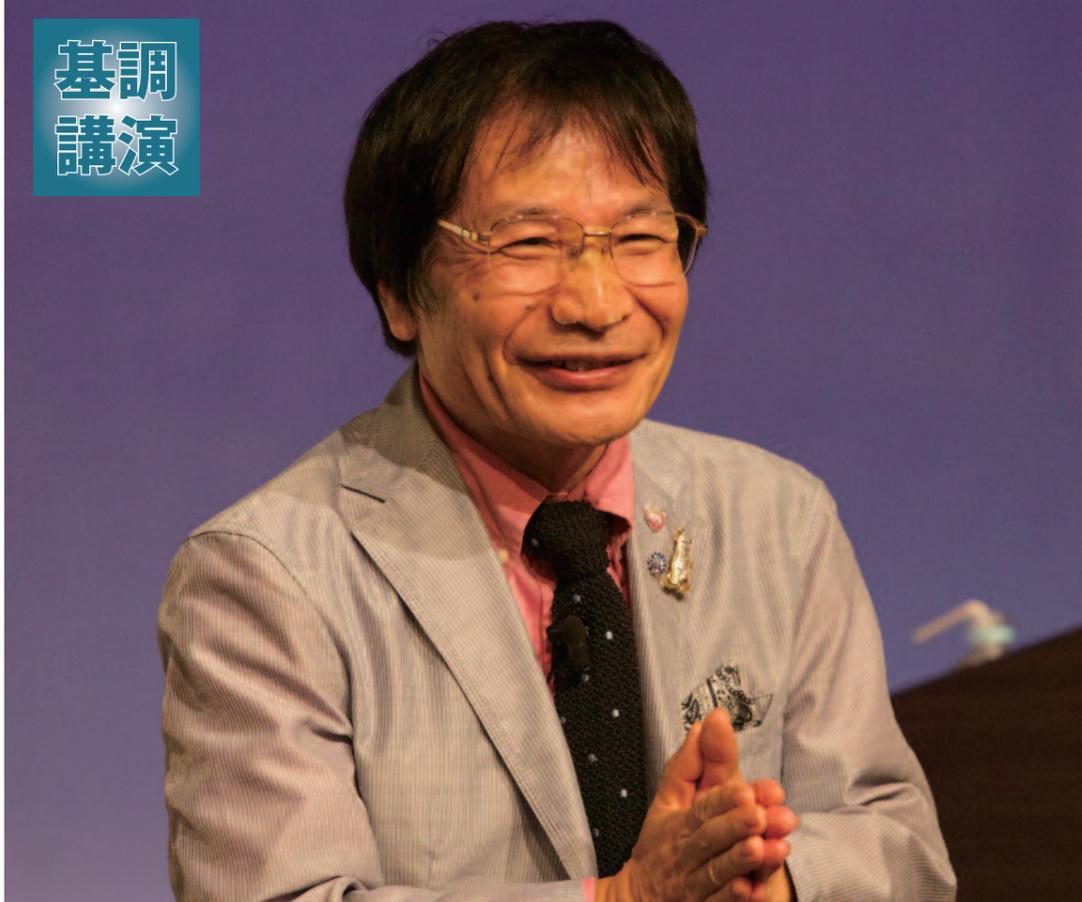
2014年10月3日

号外

全国国立大学附属学校連盟
全国国立大学附属学校 PTA 連合会
〒105-0001 港区虎ノ門1-2-29
虎ノ門産業ビル 8F
TEL : 03-3591-2091
FAX : 03-3591-2092
E-mail : jimukyoku@zenfuren.org
制作 : (株) 税経 印刷 : (株) 明光社

全附P連PTA研修会 第5回全国大会

基調講演



親だからできる「こころ」の子育て

臨床教育研究所「虹」代表 教育評論家 尾木直樹氏

基調講演1では、「親だからできる『こころ』の子育て」をテーマに、法政大学教職課程センター長・教授で臨床教育研究所「虹」所長の、「尾木ママ」の愛称で親しまれている尾木直樹先生にお話をいただきました。

講演の中で、子どもの危機はおとなと子どもの関係不全社会がその背景にあることを気づかされ、子どもたちをいかに自立させるかが子育てする上で重要であることを学びました。まさに附属学校園で進められている自主・自律（自立）・自由の精神を育むことがとても大切であることを再認識できたのではな

いでしょうか。親として、数多くの機会に子どもを直接参加させてその声を聞き、ある時は責任を取らせ、ひとりの市民として扱う姿勢。そのような子育てが子どもの「こころ」を育むことを教わりました。

教育評論家としての厳しい面を持ちながら、尾木ママという愛称どおりのやさしい口調で語りかける尾木先生。親としての心構えをあらためて考えるきっかけとなる講演でした。この講演で学んだことを参加者が各校園に持ち帰り、附属全体の親が共有できることを願っております。



熱烈な歓迎に応え登壇する「尾木ママ」

また、大学・研究所での研究に加えメディアへの出演等多忙を極める中、附属校園のために時間を割いてくださった尾木先生に感謝申し上げますとともに、今後のますますのご発展、ご活躍を心よりお祈りいたします。



会長 岡山和広

今年で第5回という節目を迎えましたPTA研修会全国大会へ各地よりたくさんの皆様にご参集いただき誠にありがとうございました。

本年度は、「親力最高（再考）〜親の学びがおこす新しい附属と子ども〜」の開催スローガンのもと本大会を開催させていただきました。

恒例となりましたリーダーズセミナーおよび女性会を皮切りにスタートいたしました。これまでの遍歴を受け5回目では、

くその根幹であるわれわれ附属学校の具体的なテーマと進むべきベクトルの方向性を指し示すことに辿り着け、今後の展開に可能性を感じることができるとなりました。

また、女性会では山崎直子さんを講師にお迎えし、壮大な宇宙体験から繰り広げられる人間愛について本当に大きく包み込むその心をやさしくご伝授いただきました。しかも別世界の方かとおもいきや、現在子育てに関わるPTAの間であられることにも親近感と勇気を抱かれた方は多かったのではないのでしょうか。

その後も尾木直樹先生をはじめ著名な講師の方々によって繰り広げられた「親力の再考」にともなう講演の数々に、驚きと感銘の余韻が残っております。

今、国の再生が叫ばれる中その重要な柱の一つに教育の再生が唱えられております。さまざまな角度から教育に



ハイアットリージェンシー東京

る再生提言が出され、まさにこれから日本を支える人材の育成、つまり人を育てるといふことの重要性が指摘されております。この二日間の研修会が、子どもたちの成長のためには、われわれ親の力こそが最高の力であり、親の学びで子どもを導くことの重要性を再考する機会としてとらえられると確信いたしております。そしてご参集のすべての皆様方が「親の学び」が引き起こす軌跡（奇跡）を、今後子どもを導くそれぞれの場面で生かすことができる実り多き成果としてお持ち帰りいただけることをご祈念申し上げます。

女性会 「宇宙、人、夢をつなぐ」 宇宙飛行士 山崎直子氏



女性会の講師は、日本には二人しかいない女性宇宙飛行士の山崎直子さん。山崎さんは、お茶の水女子大学附属高等学校のご出身です。1999年に国際宇宙ステーション（ISS）の宇宙飛行士候補者に選ばれ、実に11年間にわたる種々の厳しい訓練を経て、2010年にスペースシャトル・ディスカバリー号で宇宙へ行き、ISS組立補給ミッションに従事されました。講演では、宇宙へ行くまでの過程や宇宙での生活を、ご自身が撮影された美しい写真とともにご

紹介くださいました。私たち保護者にとって、夢と未来について考える機会となりました。心から感謝申し上げます。昨年、山崎さんはお嬢様が通われる小学校でPTAの学級代表を経験されたそうです。現在、宇宙での経験を生かした執筆活動や講演会などに加え、内閣府宇宙政策委員会委員ほか多数の公職にも就かれ、ご多忙な山崎さん。二人のお嬢様を持つ母としても輝きを増し、今後ますますご活躍されますことを楽しみにしております。

テーマ別分科会

本年度の研修会では、「親力最高(再考)～親の学びがおこす新しい附属と子ども～」という大会スローガンのもと、素晴らしい講師の方々をお招きして4つの分科会が催されました。今、附属を取り巻くさまざまな問題がある中、「子どもたちの笑顔のために」「子どもたちの安全のために」「人としてしあわせのために」「附属学校を支えるた

めに」という大きなテーマを取り上げ、それぞれについて興味深いお話をいただきました。また今年度は特別支援PTA会長会・幼稚園PTA会長会を開催して、直面する様々な問題に関する情報交換を行いました。このような学びの機会を通じて親力を向上させ、我々附属学校をより誇らしく示す全国の思いとしての成果をあげることができたと確信いたしました。

子どもたちの笑顔のために 佐藤弘道氏



NHK「おかあさんといっしょ」10代目体操のお兄さんとして活躍された佐藤弘道さん。体操のお兄さんだけあって、初めに参加者と一緒に体を動かし、心も体もリラックスしてから講演となりました。とても若々しい姿に参加者も

感心しきりでした。自らの経験に基づく子育てに対する思いも話いただき、参加者とのコミュニケーションを図りながら終始笑顔の絶えないさわやかな講演となりました。

犯罪心理学から考える学校安全 東洋大学社会学部社会心理学科教授(犯罪心理学) 桐生正幸氏



犯罪心理学の専門家で、大学で教鞭をとる傍ら、新聞・雑誌、TVニュース、ワイドショー番組での事件解説や、ドラマ等の監修者としても幅広くご活躍中の桐生正幸先生。子どもを取り巻く犯罪被害の実態について、実践的な防犯対策面でのご提言を頂きました。また、子どもを将来の犯罪者・加害者にしないためにはというお話も、重く受け止めることができました。著書「幼い子どもを犯罪から守る！命をつなぐ防犯教育」のご一読をお勧めします。

人生は、『幸福しあわせ』という名の宝探し 薬師寺・執事 大谷徹英氏



法隆寺・東大寺・興福寺と居並ぶ奈良のお寺の中でついつい薬師寺を見落としがち、みんな嘘付きだと痛烈な毒舌から始まり、仏教を通し我々の心の中を見直して行かなければ日本は滅びてしまう！学問寺として奈良時代に創建さ

れた薬師寺の僧侶である大谷徹英氏は熱く語ります。『挨拶』をはじめ日本語には仏教から入って来た言葉がいっぱい。その言葉の語源を辿ると物事の本質が見えて来ます。今日の話を持ち帰り、皆で心の中を見直してみませんか？

教育後援会会長会



第4回大会より開催され、今回で2回目となる教育後援会会長会が60名を超える参加者のもと開催されました。事前に集計されたアンケートをもとに、各校それぞれの実情が紹介され、関係者の後援会に対する認識の違いがあることがわかりました。また、普段顔を合わせる機会が無い面々が実際に会って話し合う場を作ることでお互いの理解が深まり、会員の方々からお預かりした大切なお金の扱い方についても、深く慎重な議論が交わされました。

リーダーズセミナー

衆議院議員 遠藤利明氏



佐藤弘毅室長



第1部は、「国の目指す教育改革」「教育再生会議の進捗状況」などをテーマに、教育問題に精通されている衆議院議員遠藤利明氏にご講演いただきました。第2部では文部科学省高等教育局大学振興課の佐藤弘毅室長より、附属学校園の活用方策・存在意義、国立大学の改革についてのお話をいただきました。約260名の出席者の皆さんは、附属の進むべき道、PTA役員としての活動のヒントを得る事ができ、大変有意義なセミナーとなりました。



「絵画コンクール」入選作品の展示

【ぼくのわたしのこころの宝もの】をテーマに『絵画コンクール2014』が開催されました。今年、主管校をお引き受け頂いた宮城教育大学附属小学校の皆様により、会長賞、特別賞、カンガルー賞、政宗賞が選定されました。また、昨年に続き岐阜大学附属校OBで東京芸術大学先端芸術表現科教授の日比野克彦さんに特別審査員をお願いし、「日比野克彦賞」を選定して頂きました。素直でのびやかな入選作品の数々に、足を止め熱心に鑑賞する来場者の姿が多数見られました。



特別支援学校作品の展示

今年も特別支援学校の生徒たちの作品を展示いたしました。「学習」と言う入力作業を苦手とする子どもも、「創作」と言う出力においては、素晴らしい能力を大いに発揮します。実用性のある作品から、思い思いに創意工夫を凝らしたもので、様々な作品群が皆様をお待ちしています。子どもが造った素敵なギャラリーです。是非、安らぎとくつろぎの時間をお過ごしください。きっと皆さんの目を楽しませてくれることでしょう。